

大学名 九州大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 Open Science and Open Education with Open Mind: 全分野横断・全学年縦断データサイエンス教育

## 【特色ある取組】

学術の客観性や再現性を担保するために、あらゆる分野においてデータおよびその分析結果を根拠とした議論が必要となっている。また社会においても、データを用いたサービス提供や、データをエビデンスとした戦略決定が一般的なものとなりつつある。こうした状況を踏まえ、九州大学では、表題に示した「オープン」な枠組みにより、**全分野においてデータ人材を育成・輩出**することに取り組んでいる。

- ・**低年次データサイエンス教育**(2018～)：「リテラシーレベル」および「応用基礎レベル」の教育を行う。各分野の特性と分析事例を踏まえた内容を教授。
- ・**データサイエンス実践特別講座**(2017～)：学部生・修士・博士・教員まで、全学の誰もが受講可能な「学びなおし講義」「プログラミング演習」「個別コンサルティング」を提供。編集可能な講義スライド(PowerPoint)は、全国150近くの教育機関・企業等に提供済み。
- ・**情報系副専攻**(2024より部分開始、2025より本格稼働)：全学部学生に、情報系に関する様々な講義・演習を提供し、一定単位数以上の取得により修了認定。プログラミング演習については、メディアデータ解析、センサデータ解析、Webアプリといった、複数のメニューを準備。X-インフォマティクスの講義も各分野に新設。修士・博士・教員のリスキリングとしても機能。

## 【期待できる成果】

上述の「低年次から高年次までの全学年縦断、そして文系・理系を問わない全分野横断」型のデータサイエンス教育により、学術的・社会的に期待されるデータ人材を幅広く育成できる。いずれの教育プログラムにおいても「データ分析の面白さ」を理解し、興味を持つことを重要視している。さらに「そうした学生諸君の各部局での研究活動を通して、その次の世代の学生諸君に『データ分析』の輪が自然と広がっていく」ようなエコシステムの確立を目指している。

### 情報系副専攻

データ分析に限らない情報系講義・各分野視点の「X-インフォマティクス」講義・メニューの異なる複数のプログラミング演習

### データサイエンス実践特別講座

データ分析の学びなおし講義・プログラミング演習・個別コンサルティング

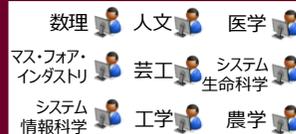
### 低年次データサイエンス教育

リテラシーレベル・応用基礎レベル  
(分野特性を考慮・実例の重視)

全分野横断・全学年縦断型  
数理・データサイエンス・AI教育

部局の枠を越えたオープンな連携

数理・データサイエンス  
教育研究センター



システム情報科学研究院

データ駆動イノベーション推進本部・  
未来人材育成機構・  
SPRING/BOOST事業・  
人文系X-プログラム・  
ラーニングアリティクスセンターなど

## 参考URL

数理・データサイエンス教育研究センターHP  
<https://mdsc.kyushu-u.ac.jp/>